

で あ い

折尾西校區社會福祉協議會

八幡西区日吉台一丁目22-20

折尾西市民センター内

TEL601-8231 FAX6

発行責任者 中西 照夫

編集責任者 渡辺 保

中・長期的なウイズコロナ・ポストコロナの状況に対応する社協活動の展望と課題 令和三年度を振り返って

会長 中西照夫

日頃から当社会福祉協議会の諸活動についてご理解とご支援を賜つてあることにつきまして衷心より感謝申し上げます。

令和三年度も、新型コロナの感染状況を注視しながらの活動を余儀なくされました。令和三年四月二十五日～五月三十一日までの緊急事態宣言、更に八月二十日から九月三十日までの再度の緊急事態宣言が発令されました。その後も、まん延防止等の措置やその延長などが繰り返されました。その影響で、市民センター会議室の使用が不可能になつたり、参加人数の制限などが継続されました。

そのような状況の中、民生児童委員・主任児童委員・福祉協力員の皆さんによる見守り活動やサロン活動も大幅な制限を余儀なくされました。そんな困難な状況の中でも、合計六七名の皆さん、が北九州市の「五つの行動目標」に沿って、「三密」を避けながら、安否確認など日常活動を継続していただきました。その間のご苦労に衷心より感謝とお礼を申し上げます。

さらに、本社協のメニュー事業Ⅰの次世代の福祉活動者を育成するウエルクラブ活動についてましては、小学校の休校措置と夏休み期間の大嵐短縮などのため昨年度は、中止を余儀なくされました。が、今年度は、折尾西小学校のご協力により、規模は縮小しながらも発足することができます。一人暮らしの高齢の方に年賀状の宛先を書くなどの活動などができました。

その他、今後五年間を見据えた、小地域活動計画の推進、さらに、補助金を利用しての認知症講演会も老健施設サングリーンアネモスのご協力の下に、規模は縮小ながら実施できました。

ウエルクラブ活動について

事務局長

義和

•

令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため「ウエルクラブ活動」は、中止せざるを得ない状況でした。令和3年度に入つても新型コロナウイルスは猛威を振るい、先行き不透明な状況が続いて居ましたが、2年連続中止だけはしたくないとの思いで、数回に渡り事務局の方で話しました。
現状、活動期間は夏休みのみと限定されて居

ましたので夏休みに捕らわれず年間を通じて出来るこ^トをやつて行こうとの想いで令和3年6月、申込案内状を配布し、最終的に合計6名の児童に参加頂きました。また行事の内容は、社協の行事の中より数点選び参加して頂く様にしました。

1つ目の行事、折尾市民センター文化祭での
社協が運営する喫茶コーナーのお手伝いを予定
して居ましたが、コロナのため中止に成りまし
た。

2つ目の行事、高齢者への年賀状出しのお手伝いに参加して頂きました。感染防止の為部屋を2つ取り、大人用と児童用に別れ、年賀状の宛名書きから裏面へのメッセージ書きなどを行って貰いました。年賀状の枚数が約250枚と多いため、限られた時間内でのメッセージ書きは約100枚程度に成り、半数の方にはメッセージの無い年賀状と成りましたがご了承下さい。

3つ目の行事、認知症講演会へ参加です。講師に社協にも参加して貰っている「サングリーナアネモス」の藤原さんにお願ひし子供向けの講演会を予定していましたが、数日前小学校の方でコロナの為、始めて学級閉鎖が出ました。この時参加予定だった児童の保護者より今回は参加を見合せたいとの連絡を貰い、急遽児童の参加は中止にしました。

コロナの状況下の中でも工夫すれば何か出来ると云う事が分りましたので、今後の「ウエルクラブ活動」の計画を立てる上で良い1年と成りました。

今後もこの「ウエルクラブ活動」は続いて行きます、「ウエルクラブ活動」へのご理解とご協力をお願い致します。関係者一同 皆様の参加心よりお待ちしています。

折尾西校区社会福祉協議会 事業紹介

- ・WeLL(適切、親切)
 - ・WeLcome(歓迎)
 - ・WeLfare(福祉)

をイメージしてウェル
クラブと名づけられた。

次世代地域福祉活動者育成事業～ウェルクラブ活動～

福祉のまちづくりを実現するには、校区社協活動への幅広い住民参加と20年、30年先を見据えた取り組みが必要となります。

次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動)は、地域の宝である子どもたちに「ふれあいネットワーク活動」を体験してもらい、次世代の活動者を育てると同時に、保護者等も加わった地域住民主体の福祉の風土づくりを図るものであります。

具体的には、平成18年から折尾西小学校学童(原則として4年生～6年生)が、夏休みに『見守り・助け合い・話し合い』の3つのしくみからなる「ふれあいネットワーク活動」に参加し、小地域福祉活動を体験します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大で活動は中止となりましたが、継続的に活動致します。